

ちびっ子鬼物語 「竹馬遊びとお月見」の巻

※登場人物

- ① トシちゃん ② コウちゃん ③ イサムちゃん (三人は笑鬼小学校の一年生です。)
- ④ 近所のヤマ兄ちゃん (元気でやさしく、小さい子の面倒を良く見てくれる五年生です。)
- ⑤ ヤマ兄ちゃんのおじいちゃん (竹を割ったような性格です。)
- ⑥ トシちゃんのお母さん (明るくて話し好きです。)



「トシちゃん達には初めての夏休みもあつという間に終わり、セミ取りや秋川での川遊びなど、たくさん思い出を作りました。そして新学期が始まりました。今日は金曜日。学校で国語、体育、数学と図画工作をがんばると明日から土・日曜日はお休みです。そして学校の帰り。」

▼ **イサムちゃん** 今日の図画工作の「紋切り遊び(切り絵)」面白かったよね！先生が江戸時代に流行ったって言ってたね。折り紙に台紙を当てて切りぬくんだけ。切りぬく前に出来上がりを想像すること

が面白い！出来上がった紋がすこく綺麗なんだよ！

▼ **コウちゃん** 僕は、国語の作文かな。タイトルは「夏休みの思い出」で、僕たちがヤマ兄ちゃんから教えてもらった「セミ取り」「秋川の川遊び」を書いたんだ。

▼ **トシちゃん** オイラは体育でやった「ドッチボール」だよ。相手が投げってきたボールを取って相手のコートの人にボールを投げ返して当てるんだ！オイラ達のチームが勝ったんだ。すこく面白かった。...

▼ **ヤマ兄ちゃん** みんな、こんにちは。授業が終わってこれから家に帰るのかい。はい。そうですね。夏休み中は「セミ取り」「秋川の川遊び」を覚えてくれてありがとうございました。ありがとうございました。夏休み中はありがとうございました。どういたしまして。新学期が始まってみんなに教えたい遊びがあるんだけど。竹馬って知ってる？遊んでみるかい？

▼ **トシちゃん**、▼ **コウちゃん**、▼ **イサムちゃん** 知ってます！遊びたいです！教えてください！

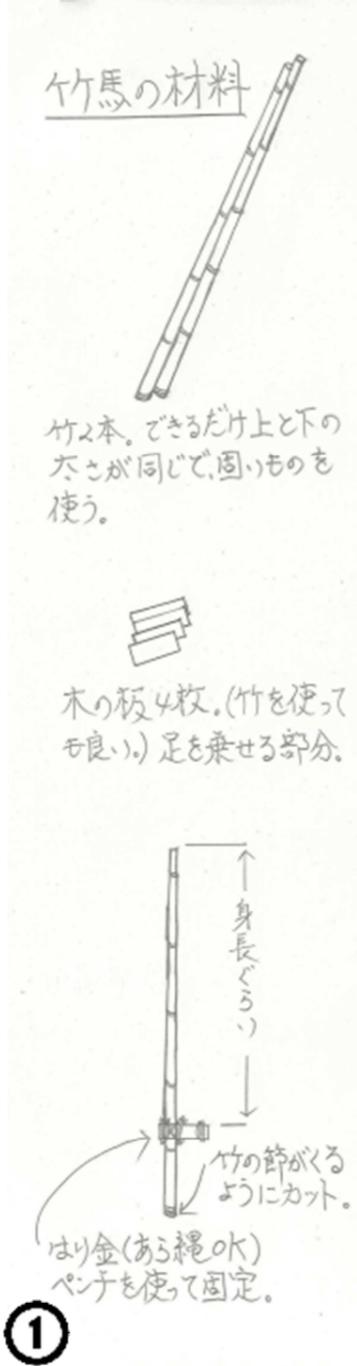
▼ **ヤマ兄ちゃん** 明日の土曜日は学校が休みだから、明日十時に兄ちゃんの家(うち)に集合しない？オッケーです。だいたいよつぷです。楽しみですよ。

「翌日、トシちゃん達三人は途中で合流して、ヤマ兄ちゃんの家に向かうのでした。」

▼ **トシちゃん**、▼ **コウちゃん**、▼ **イサムちゃん** こんにちは。ヤマ兄ちゃんいますか！

▼ **ヤマ兄ちゃん** みんな、待ってたよ。庭で竹馬づくりを始めるから、ついて来て。これが竹馬になる竹だよ。

僕のおじいちゃんが昨日、裏の竹やぶから切ってきたんだ。みんなの背(せい)身長のことより少し長く切ってます。この板が足を乗せる所になるんだよ。今回は、この竹と足を乗せる板を針金とペンチを使って固定するんだ。だけど固定するのは子どもの力では無理だから、僕のおじいちゃんに手伝ってもらいます。みんな良く見てね。



「ヤマ兄ちゃんのおじいちゃん(以降は、おじいちゃんと言います。)、は、さっそく竹と足を乗せる板をはり金とペンチを使って、竹馬を一本、また一本と、あつという間に六本作ってしまいました。」

▼ **トシちゃん**、▼ **コウちゃん**、▼ **イサムちゃん** もう竹馬六本作っちゃうなんてすごい！しかもこんなに上手に！
今までの遊び道具で一番ですね。

▼ **おじいちゃん** 小学一年生のみんなにほめてもらって嬉しいよ。ありがとう。竹馬に乗れるようになれば、三人は「竹馬の友(ちくばのとも)」だね。??「たけうま」と書いて「ちくば」と読むんだ。竹馬に乗って一緒に遊んだ幼なじみのことを言うんだよ。物知りですね！

▼ **ヤマ兄ちゃん** おじいちゃんは、春になると竹の子掘りの名人にもなるんだよ。この辺の家で食べている竹の子は、僕のおじいちゃんが掘ったものなんだよ！

▼ **コウちゃん** 今年の五月五日の子供の日に駄菓子屋のおばちゃんところで、転校したサダちゃんと僕たち三人で竹の子飯を「ちそう」になったんだ。あの時の竹の子もおじいちゃんが掘ったものなんですか？

▼ **おじいちゃん** 駄菓子屋のおばちゃんの家へ、たしか子供の日の前日に届けたから、おじいちゃんが掘ったものに間違いはない。ほんとうにおいしかった。

▼ **ヤマ兄ちゃん** これから、みんなに竹馬の乗り方を教えるからね。兄ちゃんがやってみせるから、良く見てね。『こゆうふうくに竹馬を持って、片足ずつ足を乗せます。前に重心を置きます。そのまま竹馬を止めているから、竹馬を持つ手の場所。それから重心。良く見てね。前に歩き始めます。』

「ヤマ兄ちゃんとおじいちゃんは、一人ひとりに乗り方を教えるのでした。始めの頃は、バランスを取るのが難しかったのですが、繰り返し練習して、三人ともまだまだここない乗り方ですが、竹馬に乗って歩くことが出来るようになりました。」



▼ **ヤマ兄ちゃん** そろそろお昼ご飯の時間になるから、今日はここで終わりにしよう。

▼ **トシちゃん**、▼ **コウちゃん**、▼ **イサムちゃん** ヤマ兄ちゃん、おじいちゃん竹馬を作ってくれて乗り方も教えてくれてありがとうございました。また教えてください。

「そして三人はお昼ご飯を食べに家に帰って行くのでした。」
竹馬で歩けるとすこく楽しいね！みんな練習の鬼だったよ！次はケンケンしたいな！

ここまで読んで頂きありがとうございます。前編はいいで終わります。少し休憩しましょう。後編を楽しみにしててください。

▼トシちゃん くだいま。帰つたよ。お腹すいた。...

▼トシちゃんのお母さん(以降は、お母さんと書きます。)(お昼ご飯たくさん食べてね。

▼トシちゃん いただきま〜す。...モグモグ、モグモグ...

▼お母さん お午前中はヤマ兄ちゃんから「竹馬」の乗り方を教えてもらつたんでしょ。じょうずに乗れるようになった？三人とも少し歩けるようになったよ。それは良かったね。

「トシちゃんはお母さんに、おじいちゃんが竹を切つて、僕たち三人に竹馬を作ってくれたこと。ヤマ兄ちゃんとおじいちゃんが竹馬の乗り方を教えてくれたこと。それからおじいちゃんが竹の子掘りの名人であることを話すのです。」「

▼トシちゃん お腹いっぱいになったよ。「ちそうさま。

▼お母さん ヤマ兄ちゃんには、夏休み中ずっとセミ取りや川遊びを教えてもらつて、新学期が始まれば「竹馬」の乗り方を教えてくれたり...本当にえらいよね。今回はおじいちゃんが竹馬を作ってくれたり。ありがたいね。...

▼お母さん ヤマ兄ちゃんに何かお礼をしたいね。...そうだ！もうすぐ十五夜になるから、ヤマ兄ちゃんと

▼トシちゃん お母さん良いと思うよ！...十五夜のお月見の日っていつなの。

▼お母さん 今年は九月二十一日の火曜日になるよ。だからこの日の夕方の五時ぐらいに家に来てくれるように話しておいてね。はい。

「トシちゃんはさつそく月曜日に、コウちゃんイサムちゃんヤマ兄ちゃんと、九月二十一日夕方五時に家へ集合して、十五夜のお月見をしながらご飯を食べる約束をしたのです。」「

▼トシちゃん コウちゃんイサムちゃんおはよう。おはよう。おはよう。今週の土曜日、ヤマ兄ちゃんが良かったら「竹馬」の練習に行かない。行！行！良いよ！

「ヤマ兄ちゃんの都合が良いので土曜日に竹馬乗りの練習に行くことになりました。...そして土曜日。」「

▼トシちゃん、コウちゃん、イサムちゃん こんにちは。ヤマ兄ちゃんいますか！

▼ヤマ兄ちゃん みんな、こんにちは。待つてたよ。...

▼トシちゃん 母ちゃんが作った「梅ジュース」おじいちゃんつて。持ってきました。

▼ヤマ兄ちゃん おじいちゃんトシちゃんのお母さんから「梅ジュース」が届いたよ！

▼おじいちゃん これは大好物じゃ。お母さんによるしく言つていて。はい。はい。...

▼ヤマ兄ちゃん 「竹馬」乗りの練習始めようか。はい。はい。はい。お願いします。

「そして三人は夕方になるまで夢中で練習をするのでした。...早いもので今日は十五夜。コウちゃんイサムちゃんとヤマ兄ちゃんを家に招いて、お月見をしながら夕ご飯を食べる日です。...そろそろ夕方の五時になるので、みんなが集まって来る時間です。」「

▼コウちゃん、イサムちゃん こんにちは。トシちゃんいますか。...待つてたよ、上がつて！お邪魔します。「少し遅れてヤマ兄ちゃんもやってきました。夕ご飯が始まるまでは、竹馬遊びの話題で盛り上がっています。...」

▼お母さん 夕ご飯の用意が出来ましたよ。今日のお月さまはまん丸でも綺麗だから、お月さまが良く見える部屋に夕ご飯を用意しましたよ。...さあ、みんな座つてね。座つて。ほんとに明るくて綺麗

だ。まん丸で月の中に何かいるようだね。そうよ。お月さまには「うさぎ」がいると言ひ伝えられているのよ。お月さまをよく見て。...ほんとだ。お月さまの中で「うさぎ」がお餅をついているように見える！「うさぎ」。？見えない。

▼トシちゃん 今日の夕ご飯いつもと違うね。みんなが来るから？

▼お母さん そうよ、みんなが来るから十五夜にちなんだものを作つてみたのよ。...十五夜はね、お月さまに、今年野菜や果物などが収穫できたことへのお礼と、お米などもたくさん収穫できるようにお願いする日なのよ。とても綺麗な十五夜のお月さまを見ながら、みんなで楽しく夕ご飯を食べましよう。グーグー...お腹鳴っちゃった。

▼コウちゃん、イサムちゃん、ヤマ兄ちゃん、トシちゃん いただきま〜す。...

▼お母さん 今日の夕ご飯のメニューはね。家の畑で今朝採れた野菜のサラダ。卵の白身を雲に黄身を満月に見立てた月見そば。お手製のフライドチキンと月見ハンバーグ。自家製のみそで作つたおみそ汁。それから栗ご飯。...こんなにたくさん食べられるかな。本当においしいね。

「みんなは月明かりの下、お月さまに感謝し、楽しく、美味しく、お腹いっぱい夕ご飯を食べるのでした。...そして三人は遅くならないように家路につくのでした。...みんなが帰つた後、お母さんはそつと空を見上げて十五夜のお月さまに、なにやらお願いしています。」「

▼お母さん 今日は子ども達とお腹いっぱいご飯が食べられたけれど、世の中には食べる物が無い子どもがたくさんいます。子ども達が食べ物に困らないよう、お月さま見守つていてください。お願いします。

☺ お月さまからの声 お母さんの気持ちを叶えてあげましよう。

▼お母さん 聞こえた！願いを叶えてくれるつて、お月さまの声が聞こえた！...

